



雄武町 No. 194 令和7年11月号

議会だより



Contents

- | | | | |
|----------------|---------|-------------|-------|
| ▶ 行政報告等 | — P2-3 | ▶ 採決結果 | — P13 |
| ▶ 一般質問 (1名) | — P4 | ▶ 議会日誌・あとがき | — P14 |
| ▶ 議案審議 (9月定例会) | — P5 | | |
| ▶ 令和6年度決算認定 | — P6-12 | | |

雄武町議会 **YouTube** は
こちらから



国保病院まつり

9月定例会報告

行政報告（高橋町長）

9月9日

9月定例会の中から、行政報告とその関連質疑をお知らせします。



◎雄武町立特別養護老人ホーム「雄愛園」における不適切な金銭管理（抜粋）

町立特別養護老人ホーム雄愛園について、先般、前施設長により不適切な金銭管理が行われていた事実が判明いたしました。町が特養を設置している立場においても、このたびの不祥事が発生したことを重く受け止めるとともに、入所者様並びにご家族の皆様には多大なるご不安とご迷惑をおかけしておりますことに対し、深くおわびを申し上げます。また、議員の皆様並びに町民の皆様には、町の高齢者介護サービス事業に対する信頼を著しく損ねる事態を招くこととなりました。

たことは誠に遺憾であり、重ねて深くおわびを申し上げます。

このたびの不適切な金銭管理は前施設長による入所者の預り金着服等であり、これは介護サービス事業者においては重大な事故に当たるとも、不法行為に当たるともありません。

町といたしましては、町条例において設置する特別養護老人ホームが速やかに適正適切な運営をすることが重要であるという認識に立ち、積極的な関与のもとより、監督指導機関による調査等に全面的に連携協力し、事態の解決と信頼の回復に向けてしっかりと対処してまいりたいと考えているところであります。

◎交通事故死ゼロ3000日の達成

令和7年9月8日目標達成

◎常勤医師（正職員）の配置

医師名 磯部貴布先生
採用日 令和8年1月1日
診療科 内科（循環器内科）

◎懸案事項における要望活動

- ・北海道国営農地再編整備事業推進連絡協議会
- ・雄武町単独
- ・西紋別地区総合開発期成会
- ・高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会
- ・オホーツク圏活性化期成会
- ・立憲民主党オホーツク地区政策懇談会

●お試し暮らし住宅

今泉

お試し暮らし住宅の利用実績、問合せはどのくらいか。

総合政策課長

令和7年度の募集を1月から開始し、期限を決め調整した後、空きがあれば随時募集をかけている。その後も空きがあれば貸している。

現状で10件ぐら利用がある。その中でリピーターの方は1件、あとは新規の方。



●行政評価の事業評価結果一覧表

今泉

総合型学習塾事業が廃止となっているが、どのようになっているのか。

教育振興課長

調査検討等を進めてきたところ、教育委員会の体制、学校の校舎の関係などなかなか前に進まない状況にあり、白紙に戻し今後ニーズがあれば再検討していく。

今泉（意見）

学習塾に通いたい人たちもいると思う。その人たちのためにも復活していただきたい。

●介護予防・日常生活支援総合事業

嶋村

この事業の取り組みと今後の計画は。

地域包括支援センター所長

今年度も、雄武中学校から町の産業・歴史について直接高齢者等からお話を聞きたいと申し出があり、農林水産業等のお話を3回させて頂いた。

認知機能の維持・予防につながると考え、今後とも中学校と連携して進めていく。



●避難行動要支援者名簿

遠藤

避難行動要支援者名簿の外部提供について詳細は。

総務課長

避難行動要支援者名簿は、要綱に基づき町で名簿を作成している。8月末現在で避難行動要支援者は75人。各自治会においても災害があった場合に要支援者名簿の把握が必要かと思うが、今年は1自治会から申請があつて提供した。毎年名簿の方々が変わるわけではないが、随時申請があれば提供していきたい。

●コミュニティバスの運行実績

嶋村

コミュニティバスの関係ですが、今回の実績で乗車人数1310名という数字が出たが、当初の計画に比べてどうか。

公共交通対策室長

コミュニティバスになる前の患者輸送バスの時は、1日の乗車人数が4.5人程度。公共交通計画の中では1日8人を目標に設定した。2月3月の試験運行のときには、1日平均が9.9人。4月以降の実績は12.6人ということで少しずつ伸びている状況。

9月9～12日（4日間）審議内容

- 行政報告（町長）
- 行政事務報告（副町長）
- 教育行政報告（教育長）
- 一般質問（1名）
- 認定9件
- 報告2件
- 各会計補正予算6件
- 条例改正4件
- 規約変更3件
- 委員の任命1件



行政報告等に関する質疑応答

●地域おこし協力隊と空き家バンク

遠藤

地域おこし協力隊の移住定住支援員を新規採用されたが、この方は常時どこにおられて相談する方はどこに行ったらいいのか。空き家バンクとの連携を考えているのか。都市圏の移住フェア等への参加は予定しているのか。

総合政策課長

移住定住促進支援員は雄武町役場・総合政策課の勤務になる。

地元町民や町内関係団体などと連携して、道内外の移住希望者等を対象としたPR活動や、移住イベントの企画立案など移住定住の促進に関する業務に従事することとしている。一昨年、職員が移住フェアに行っているが東京となると、移住のハードルが高い感じがあった。昨年札幌に行ったときに感触がよかったので、移住フェアの行き先をこれからも検討していきたい。

●中小企業振興助成金の交付状況

遠藤

特産物等研究開発事業228万円の詳細は。

産業振興課長

ほたてせんべいの商品化にむけての厨房機器の購入費、パッケージ製作費となっております。

施設長の着服問題、町長の受け止め方は

大変重く受け止めている（町長）

町立特別養護老人ホーム「雄愛園」施設長による着服問題

雄愛園での施設長による着服問題について伺います。

8月26・27日両日にわたり新聞報道があり、町民に驚きが広がっているが、町長の受け止め方を伺います。

地域福祉課参事 10年前まで

5月初旬に事案発生後、3か月が経過しても調査が終了していない状況を見ると、果たして社協の組織自体に对应力があるのか疑問です。町が調査に乗り出すべきでは。

さかのぼっての調査で多くの時間と労力が必要と考えており、現入所者の調査が終わった段階で、道の監査と併せて町も調査に入る考えです。

新聞報道では現金・預金の管理方法に内部規定はないと社協職員が回答したと報じておりますが、平成17年制定の管理規程は存在する。指定管理者の幹部職員が管理規程の存在を知らないということ

は問題では。

地域福祉課参事 町も議員と同じ認識でしたが、回答した社協職員は知らなかったようです。

新聞報道では7月末で施設長は自主退職とのこと

です。議員全員協議会での町の説明では、施設長より退職願が出され、それを社協の事務

局長が預かり処理せず保留扱いとしていたとのこと。

町に報告し社協組織として検討すべきで、辞表を受理したと解釈されかねず、非常に問題のある対応と考えるが。

町長 退職願の処理については非常に稚拙な事務処理と認識しています。議員全員協議会の後、社協会長と会い、社協理事会において懲戒解雇の意思が確認されたのであればそうすべきと申し入れ、その後、会長より懲戒解雇にするという公文書を頂いております。

※その他

【町有施設の冷房の設置状況と今後の設置計画について】

【役場前駐車場の狭隘問題について】

・町の認識を問い、解決策として30%を占める公用車の駐車スペースを確保すべき

【ふるさと100・メモリアル広場施設整備について】

・産業観光まつり関連資材が町内数か所に分散保管されている問題（公園内に簡易保管倉庫が必要では）

・簡易トイレで対応している

ので、まつり混雑時、女性参加者の苦情が出ている（常設トイレの設置の検討について）

など、町の考えを伺いました。

5月初旬	雄愛園職員が社協に金銭管理について相談
6月16日	社協からの連絡がないため、雄愛園職員が町に文書を提出（不適切な金銭管理の疑い）
6月30日	町が社協に事実確認、調査報告を求める（7月22日期限）
7月22日	入所者1名の使途不明金が判明、調査は未完了
7月28日	町が社協に引き続き調査依頼（8月15日期限）
8月20日	社協理事会開催
8月21日	社協から町に理事会の結論書、調査報告書（8月15日期限）が提出される ※内容に不明部分があるため、確認作業を継続する
8月25～26日	北海道新聞の取材対応
8月28日	議員全員協議会開催

5月初旬に事案が発生してから経緯の説明を。※下記表を参照



しまむら よしふみ
嶋村 義文 議員



9月定例会 議案審議

定例会の議案審議中に行われた質疑応答の内容をお知らせします。

◆雄愛園・修繕費の内訳

(令和7年度雄武町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号))

遠藤

雄愛園の修繕費は180万円以上を超えるものということだが、具体的な修繕内容について教えていただきたい。

地域福祉課参事

代表的なものとしては、熱交換形換気機器の更新66万円、浴室関係65万円、居室ベッド介護用リフト33万円、デイサービスの送迎バス85万円、共用している部屋のブラインド70万円となっている。

◆取水施設改修工事

(令和7年度雄武町一般会計補正予算(第3号))

今泉

取水施設改修工事、取水管の大きさ、工期は。

産業振興課長

当初、仮設管の口径は3本とも直径75ミリで考えていた。

2つの加工場の取水管があり、口径は直径100ミリ、125ミリ、150ミリの3本。これが、取水量が確保できないとのことで、仮設管の口径を既存管と同じ口径に合せたのが変更の理由。工期については、7月8日から9月15日であり、今回議決を経たのち、早急に設計変更手続きを行う予定。

今回の支障物件移設は、元稲府漁港の開発局直轄工事に支障となる取水管を一時移設したのちに復旧するもの。直轄工事の内容は、船揚場の舗装工事であり、既存の取水管が支障となるため一時仮設管で切り回し、路盤をつくり、その後に取水管を元に戻すといった内容。

補正予算【主な内容】

- ・一般会計(第2号)

オフィスソフト更新業務委託料 941万6千円

- ・介護サービス事業特別会計(第1号)

特別養護老人ホーム等指定管理料3 91万9千円

- ・一般会計(第3号)

漁船保管施設用地取水施設改修工事 347万千円



意見交換会

日時：11月30日(日) 10:00～

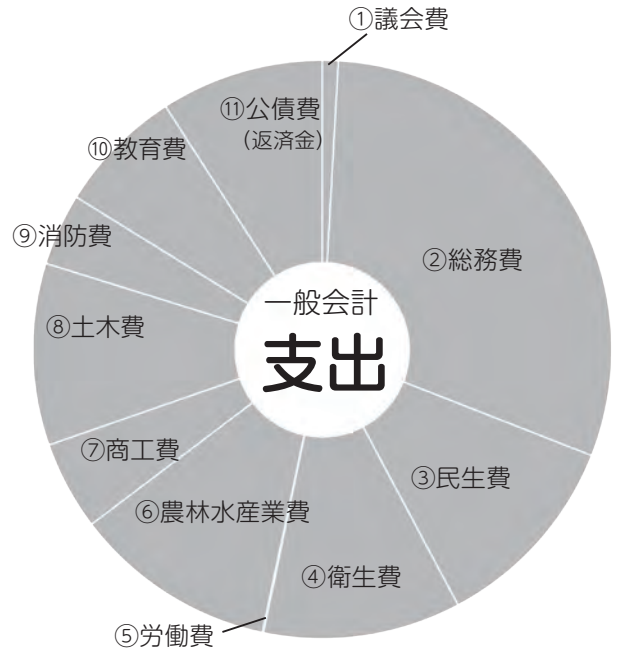
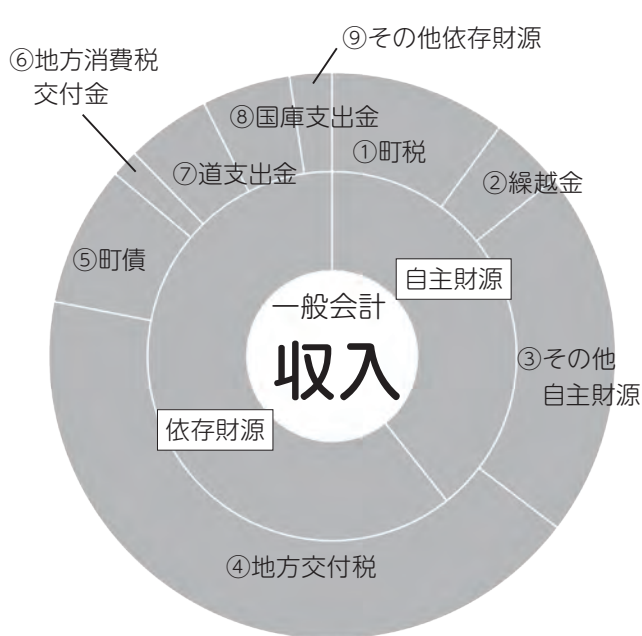
場所：地域交流センター

町民の皆さまのご参加をお待ちしております！

決算審査特別委員会 令和6年度 決算認定

9月議定例会において令和6年度決算審査特別委員会が設置され、各会計において審議を行い、すべての会計の決算については原案のとおり可決されました。

決算の内容と質疑応答、決算委員会からの意見をお知らせします。



収入(歳入) 72億 5287万円

①町税	10%	7億 2895万円	⑦道支出金	5%	3億 5027万円
②繰越金	4%	3億 784万円	⑧国庫支出金	5%	3億 6699万円
③その他自主財源	21%	15億 2729万円	⑨その他依存財源	2%	1億 7479万円
④地方交付税	43%	30億 9931万円	自主財源	39%	25億 6408万円
⑤町債	8%	5億 8293万円	依存財源	61%	46億 8879万円
⑥地方消費税交付金	2%	1億 1450万円			

支出(歳出) 69億 4185万円

①議会費	1%	6186万円	⑦商工費	5%	3億 4597万円
②総務費	31%	20億 8661万円	⑧土木費	10%	7億 428万円
③民生費	11%	7億 8236万円	⑨消防費	4%	2億 7947万円
④衛生費	11%	7億 6605万円	⑩教育費	7%	4億 9036万円
⑤労働費(※)	0%	467万円	⑪公債費	9%	6億 3146万円
⑥農林水産業費	11%	7億 8876万円			

(※) 労働費は0.007%

昨年度からの大きな増減

【収入】町債 (5%→8%)	学校環境整備事業債	+1億 440万円
その他自主財源 (24%→21%)	ふるさと応援寄附金	-1億 8954万円
【支出】教育費 (5%→7%)	小中学校環境整備事業(※)	+1億 3650万円
総務費 (32%→30%)	ふるさと応援事業	-1億 1773万円

(※) 繰越明許費を含む

収入-支出=約3億 1千万円(※1)

そのうち1億 1千万円(※2)は基金に積み立て、約2億円は翌年度への繰越金となります。

(※1) 9千万円の繰越明許費を除くと実質収支額は約2億2千万円。

(※2) 地方財政法第7条の規定により、剰余金の2分の1を下らない金額を積み立てるもの。

※数値はすべて四捨五入

おうむ議会だより 第194号

2025.11発行

決算審査特別委員会 質疑応答①

委員会で質問のあった内容の一部をお知らせします。

● 緊急通報システム ●

遠藤

緊急通報システムはどういったもので、何名の方が使っているのか。利用者の声は。

社会福祉係長

現在 11 名の方が使っている。N T T から専用の機械を町が購入し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に貸出ししている。ペンダント型のものもある。緊急通報システムは、緊急時にあらかじめ登録している連絡先に通報されるもので、身寄りがいない方などは、消防を登録している場合もある。北海道健康づくり財団に委託をしており、毎月、安否確認の電話等も行っている。ご家族の方が安心したいということで緊急通報システムをつけていただいている方がほとんどで、つけておいてよかったという声のほうが多い。

【緊急通報システム】

ひとり暮らしの高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう緊急時の連絡体制づくりを支援

■支援内容

専用のシステム機器等を貸し出し、高齢者等が自宅での急病や事故などの時の連絡手段を確保

■対象者

ひとり暮らしの高齢者等

■申請等方法

所定の申請書を提出（要事前相談）
※申請時に聞き取り調査があります。

■担当窓口

地域福祉課社会福祉係



● 自治会運営補助金 ●

遠藤

自治会運営補助金、112 万円減の理由は。

防災交通係長

自治会からの申請実績が予算額より少なかった。

遠藤

防犯灯の今後の設置計画は。

防災交通係長

防犯灯は、平成 28 年から 29 年にかけて整備をしているため、新規の計画はない。

修繕については自治会に補助を出す形で対応している。また新規で防犯灯を設置したい自治会があれば、受け付けをして補助金も支給することになっている。

● LINE公式アカウントの展開 ●

遠藤

LINE の今後の展開や、改善点などはあるのか。

DX推進室長

現在抱えている機能はフルスペックで利用できているわけではないので、今後は各課間の調整も必要。町の情報の周知だけではなく、申請行為も含めた、役立つツールとして活用できるよう検討していきたい。



雄武町公式 LINE



決算審査特別委員会 質疑応答②

● バイオマス事業支援業務委託料 ●

柳原

令和 7 年度の予算書には一切出てきていないので、事業終了ということで良いのか。町として今後の方向性は。

産業振興課長補佐

バイオガспラントの整備に向けて農協や、参加農家と協議してきたが、事業費が高額になることや送電網の混雑により出力制限されるということで事業実施の判断は難しいと考え、当分の間事業を見送りにすることとした。今後、国において新たな補助金などが創設されるなど情勢に変化があったときに備えて、ゼロ予算での調査は検討していきたい。

柳原（意見）

ふん尿の臭いで困ってる方が非常に多く、バイオガспラントの整備に期待をされていた。

今まである程度お金をかけてきたので、しっかり町として、なぜ今このようになったかを説明しないと、町民の方の理解は得られないと思う。



● 雄愛園の人材確保 ●

柳原

令和 6 年度から雄愛園への一般管理費を 1700 万円増額し、4500 万円となっても非常に厳しい会計の中、どう人材確保をしていく考えなのか。

地域福祉課参事

各部門で人材不足なのは報告は受けている。日本人の介護士は募集しても集まらないため、紹介業者より外国人介護士 2 名を採用しているが手数料がかかる。調理師の募集はパートタイム希望者しか来ないと聞いている。町としても重要な問題と認識している。

柳原（意見）

介護人材育成に力をいれている自治体もある。そういう所と繋がりをもって人材確保を進めて行くべきではないかと考える。



● 子どもの居場所に係る実態調査 ●

遠藤

子どもの居場所に係る実態調査をして、どのようなことが分かったのか。

子ども未来室長

学校と自宅以外の居場所がどこにあるか。という内容で、全小中学校の児童生徒、高校生を対象にアンケートを実施した。雨の日でも遊べる場所が欲しい、学童ができる場所（共働き世帯などが安心して子育てをしながら働けるよう、放課後や学校の長期休暇中に、遊びや生活ができる場所）が欲しいという意見があった。

決算審査特別委員会 質疑応答③

● ロードヒーティングの電気料 ●

遠藤

稼働実績が少なかったとの事だが、理由と稼働の基準は。

土木管理係長

町内 14 ヶ所のロードヒーティングは、11 月頃に稼働を開始し、3 月下旬から 4 月上旬に稼働を停止。稼働期間中は気象状況にあわせて自動でオンオフが切り替わり、3 月は少し気温が高かったため執行残が発生した。

【ロードヒーティング設置場所】

- ① 沢木臨港線
- ② 川尻線
- ③ 旭日公園 2 号線
- ④ 1 丁目線
- ⑤ 旭日公園 2 号線
- ⑥ 旭日公園 2 号線
- ⑦ 松小路
- ⑧ 幸海線
- ⑨ 新町通り
- ⑩ 松小路
- ⑪ 曙通り
- ⑫ 末広幹線
- ⑬ 雄武高校線
- ⑭ 公園通り

● 有害鳥獣の捕獲 ●

遠藤

有害鳥獣物捕獲の出動回数は何回ぐらいか。ヒグマ、エゾシカ、アライグマの捕獲頭数は。

林務係長

令和 6 年度の出動回数は 471 回。

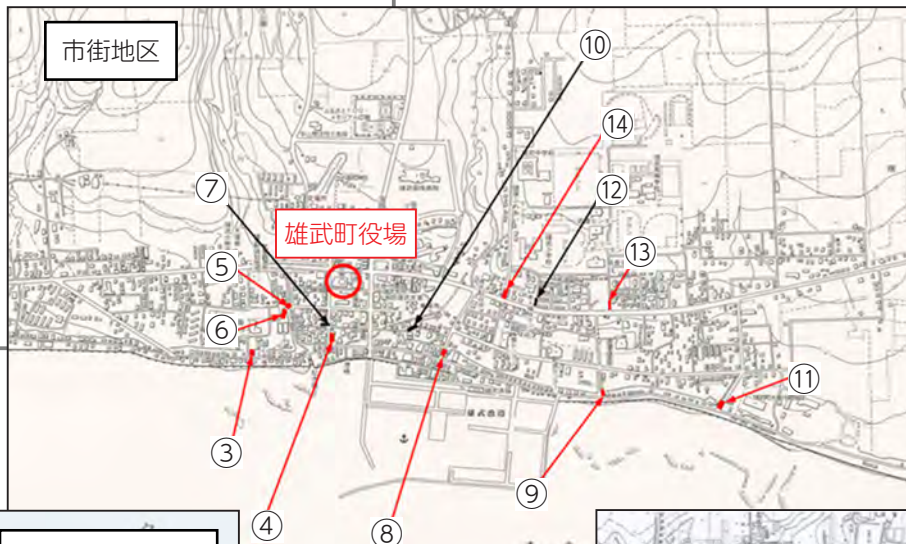
昨年はエゾシカ 80 頭、ヒグマ 14 頭、アライグマ 85 頭を捕獲している。アライグマの「わな」は年 4 台を 5 か年で購入する。

遠藤

新規狩猟者の確保事業の申請はあったのか。

林務係長

去年 1 件。これまで狩猟免許取得費、銃砲所持許可取得費のみだったが、令和 6 年度から猟銃等取得費も対象として最大 52 万円の補助を行っている。



決算審査特別委員会 質疑応答④

● 雄武高校特産品開発プロジェクト ●

遠藤

雄武高等学校特産品開発のプロジェクト支援業務委託料 110 万に關しての詳細は。

産業振興課長補佐

「びほろ笑顔プロジェクト」で美幌高校とタイアップしながら、高校生の特産品を開発している業者に委託している。毎月来ていただいて、新しい商品を開発するプロジェクトで、令和 6 年度に高校生発案の 4 つの特産品があった。

韃靼そば粉を使った「だったんそばラーメン」、「ほたてせんべい」、ホタテと牛肉を使った「オムイピザ」、「オムイまん」という雄武の牛肉を使った肉まんが開発された。その中で商品化に向けて動いているのが「だったんそばラーメン」「ほたてせんべい」となっている。

● 雄武高校卒業生の奨学金 ●

遠藤

雄武高校卒業生の奨学金は令和 2 年 3 月から開始されているが、現在何名の方が利用されているのか。

学校教育係長

卒業生奨学金は令和 6 年度 40 名に支出を行っている。



● かんきょ 管渠（下水道管）の老朽化 ●

柳原

下水道会計の決算書にある「管渠^{かんきょ}（※）老朽化率」「管渠費」とは具体的にどのようなことか。

水道業務係長

管渠老朽化率については、下水道管で耐用年数を過ぎたものがどれくらいあるかを示しているもの。下水道においては、耐用年数以内の管渠のみなので老朽化率が 0% となっている。

管渠費については管渠の修繕などにかかる費用を計上しているが、耐用年数も過ぎていないため、管渠に対する修繕等が少ないことから金額が少額になっている。

柳原

下水道管は、しばらく大丈夫という認識でよいのか。何年くらいもつものなのか。

建設水道課長補佐

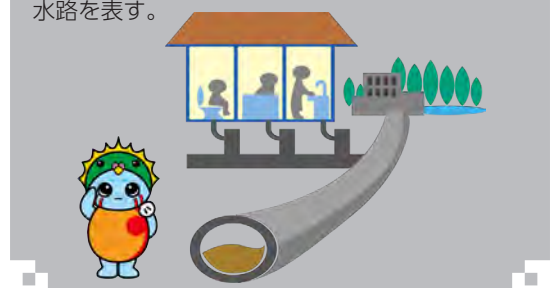
下水道事業は平成 2 年から始まり、1 番古い下水道管は、平成 4 年に布設したものとなる。

下水道管は法定耐用年数が 50 年であり、1 番古いもので 33 年経過となっている。他の自治体の話を聞くと 45 年経過くらいから更新の計画を立てるので、あと 10 年ほどで下水道管の更新計画を立てていくと思う。

（※）^{かんきょ}【管渠】

水路の総称。給水や排水を目的とした水路全体を指す。

【管】は円筒形のくだ（管）を表し、【渠】は水路を表す。



決算審査特別委員会 質疑応答⑤

● 給食の食材費 ●

溝田

近年の物価高騰により、給食材料費もかなり上がっていると思う。財政的にどうなのか。

教育振興課参事

現在の学校給食費は小学校が1食275円、中学校が1食310円。この料金は令和5年度から始まり、今年で3年目になる。

昨今食材の価格が非常に高騰しており、現状としてはもうかなり厳しいという状況。来年度以降の料金改定に向け、内部で検討を行っている。



● 沢木小学校の教員住宅 ●

遠藤

現在使われてる方は何人いるのか、転用の可能性について協議はされているのか。

総務管理係長

校長と教頭の住宅は入居しているが、国道沿いの教員住宅は事務職員が1名入居し、3戸空きがある。

教育振興課長

入居者は減ってる状況で、町全体の住宅の確保というような観点もあり、部内会議で議論検討している最中。結果によっては転用ということもあり得るかとは思いますが、現時点で具体化していない。

● スポーツセンターと図書館 ●

遠藤

6月に町民との意見交換会があった。その際、町民からの意見として、月曜日はスポーツセンターも図書館も休館日で、日曜が祝日の振替休日の月曜はどちらも利用できないと聞いた。

振替休日の日は休館日を火曜日にして、子どもたちの居場所づくりをしてもらえないか。

教育振興課長

教育委員会でも、その話は町民の方から聞いている。今後、社会教育委員の会議や、図書館協議会などで協議をしていく考え。

なお、今年度の10月のスポーツの日は本来であれば休館日だが、スポーツセンターを特別開館として開放するほか、トランポリン教室を開催するという事で準備を進めている。

● スポーツセンター内 トレーニングルーム ●

遠藤

6月の意見交換会の際に町民からの意見でトレーニングルームの使い方について「個人的なメニュー作りを行ってはどうか」「地域おこし協力隊の方が運営管理を行っている自治体もあるので、常時ではなくても指導員を置いて使えるようにならないか」という意見も頂いた。どのようなお考えか。

教育振興課長

スポーツセンターのトレーニング機器の関係でありますけれども今後の課題として整理していきたい。



決算審査特別委員会 意見

質疑を終えた後、委員会全体でまとめた意見をお知らせします。

雄武地域バイオマス導入検討事業

家畜糞尿処理対策の一環でもあるバイオマスガスプラントの整備は、エネルギー生産、温室効果ガス削減のほか、悪臭・臭気問題の軽減、土壌の肥沃化、産業創出など大きな効果があるものとして、平成30年度から外部コンサルティングによる委託調査により導入検討が進められてきたが、令和6年度をもって一旦調査が終了となっている。これまでの経緯をしっかりと検証し、町民に説明することを望むものである。

ふるさと納税（ふるさと応援寄附金）の 推進による特産品のPRと 自主財源の確保

ふるさと納税額については、これまで年々増加してきていたが、令和6年度は約1億9000万円の減収となっている。この背景には、国の制度改正や漁獲量の減少による魚価の高騰、返礼品の品薄感などの影響が考えられる。ふるさと応援寄附金制度は、町の自主財源の確保のみならず、特産品のPR、町の魅力発信、関係人口の創出など、非常に有益な制度であることから、ふるさと納税ポータルサイトの拡充や返礼品のタイムリーな発信など、工夫をこらし本町の特性を踏まえた取り組みに努められたい。

特別養護老人ホーム

「雄愛園」における体制維持と 介護人材確保対策

雄武町立特別養護老人ホーム「雄愛園」については、町内唯一の介護が必要な高齢者の生活施設として、平成17年度から社会福祉法人雄武町社会福祉協議会が指定管理者となり運営している。しかし、近年、介護報酬の改定、燃油の高騰、物価高などの影響から介護報酬のみによる運営が困難となり、令和6年度の町からの指定管理料は、前年比1700万円増の4500万円となっている。

施設を適切に運営していくためには、指定管理者における経営改善はもとより、町の指導・関与の強化が重要であると考えられる。また、質の高いケアを提供するためには、マンパワーの充実が求められるが、介護業界における人手不足は深刻化しており、将来を見据えた介護人材の育成、確保対策を充実させ、入所者、家族に安心・安全な福祉サービス提供体制の維持継続が図られるよう努められたい。



9 月 定 例	令和 6 年度健全化判断比率 法律に基づき報告するもの。実質公債費比率 7.9（実質赤字額、連結実質赤字額及び将来負担が発生しないためそれぞれの比率は算定されなかった）	報告承認 （異議なし）
	令和 6 年度資金不足比率 法律に基づき報告するもの。（簡易水道事業特別会計、公共下水道事業会計、国民健康保険病院事業会計のいずれの会計も資金不足が発生していなため、比率は算定されなかった）	報告承認 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町一般会計補正予算（第 2 号） オフィスソフト更新業務委託料の増、雄武町空家等解体補助金の増など。（+ 7155 万 7 千円）	可 決 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号） 国民健康保険システム改修業務委託料の増、データヘルス事業支援業務委託料の減など。（+ 427 万 8 千円）	可 決 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号） 介護給付費国庫負担金返還金の増、介護給付費交付金返還金の増など。（+ 1021 万 1 千円）	可 決 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号） 特別養護老人ホーム等指定管理料の増。（+ 391 万 9 千円）	可 決 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号） 後期高齢者医療システム改修業務委託料の増。（+ 165 万円）	可 決 （異議なし）
	令和 7 年度雄武町一般会計補正予算（第 3 号） 漁船保管施設用地取水施設改修工事の増。（+ 347 万 6 千円）	可 決 （異議なし）
	雄武町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 新しい学校づくり検討委員会の設置によるもの。	可 決 （異議なし）
	雄武町議会議員及び雄武町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 公職選挙法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、選挙運動の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたもの。	可 決 （異議なし）
	雄武町職員の勤務時間及び休暇に関する条例の一部改正 仕事と生活の両立支援の拡充による関係法律等の一部改正に伴い、仕事と生活の両立支援制度の利用しやすい勤務環境を整備するもの。	可 決 （異議なし）
	雄武町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正等に伴い、育児時間の多様化に応じた勤務環境を整備するもの。	可 決 （異議なし）
	雄武町教育委員会委員の任命 （谷平訓賢氏・任期：令和 7 年 10 月 1 日～令和 11 年 9 月 30 日） 任期満了となる教育委員会委員について、新たに委員を任命しようとするもの。	同 意 （異議なし）

【議会改革調査特別委員会】正副委員長の変更 ※ 8 月 28 日付

前任：委 員 長 高橋 誠 → 後任：委 員 長 嶋村 義文
前任：副委員長 安本明志美 → 後任：副委員長 溝田 昌志

議 会 日 誌

令和 7 年 6 月

12 日	第 3 回定例会開催
//	第 7 回広報特別委員会開催
13 日	議員協議会開催
14 日	雄武小学校運動会出席 議長
//	雄武消防団第三分団詰所開所式 議長ほか
15 日	第 2 師団創立 75 周年・旭川駐屯地開設 73 周年記念行事（旭川市）出席 議長
17 日	町単独要望（網走市）議長
19～21 日	町単独要望（網走市・札幌市）議長
20 日	第 8 回広報特別委員会開催
22 日	雄武消防団連合消防演習出席 議長ほか
23 日	議員協議会開催
25～27 日	西紋別地区総合開発期成会札幌要望（札幌市）出席 議長
28 日	産業振興祈願祭出席 議長ほか 4 名
//	ふる郷ふれあい交流会出席 議長ほか 8 名
//	町外来賓者との懇親会出席 議長ほか 2 名
29 日	産業観光まつり開幕セレモニー出席 議長
//	町外来賓者との昼食会出席 議長ほか 1 名
30 日	第 9 回広報特別委員会
7 月	
3 日	第 3 回総務文教常任委員会開催
//	戦没者追悼式式典委員会出席 議長
7 日	令和 7 年度オホーツク圏活性化期成会総務文教厚生専門委員会（北見市）出席 議長
8～9 日	町村議会議員研修会（札幌市）出席 議長ほか 8 名
11 日	第 10 回広報特別委員会開催
16 日	令和 7 年度雄武神社宵宮祭出席 議長ほか 1 名

17 日	令和 7 年度雄武神社例大祭出席 議長ほか 1 名
24 日	第 11 回広報特別委員会開催
//	第 6 回議会改革調査特別委員会開催
26 日	遠紋地区市町村議会議員研修会出席 議長ほか 8 名
29 日	産業厚生常任委員会分野別意見交換会（北オホーツク農協）開催
30 日	益子町交流体験の翼歓迎会出席 総務文教常任委員長
29 日～ 8 月 1 日	オホーツク圏活性化期成会令和 7 年度夏季中央要望及び西紋別期成会中央要望（東京都）出席 議長
8 月	
4 日	議会運営委員会開催
5～6 日	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会令和 7 年度定期総会（札幌市）出席 副議長
18～19 日	町村議会広報研修会（札幌市）出席 議会広報特別委員長ほか 2 名
20 日	令和 7 年度網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会並びに研修会（北見市）出席 副議長
21 日	立憲民主党 12 区総支部政策懇談会（紋別市）出席 議長
28 日	全員協議会開催
//	第 7 回議会改革調査特別委員会開催
29 日	雄武町戦没者追悼式出席、議長ほか 5 名
//	議会運営委員会開催
30 日	遠軽駐屯地創立 74 周年記念行事市内パレード（遠軽町）出席 議長
31 日	遠軽駐屯地創立 74 周年記念行事（遠軽町）出席 議長

編集あとがき

10月21日、自民党総裁の高市早苗氏が首相に選任されました。

TVや新聞などメディアでは自民党総裁選の時から、高市氏に対し否定的で、他の候補者に比べると中立性に欠ける報道だった気がします。「TVは洗脳装置である」、と言った人達に思わず賛同してしまいます。

ネットが正しいとは言えませんが、情報が溢れているので、しっかりと見極めて行かないといけないと思います。

ネットと言えば、YouTubeで雄武町議会の一般質問の動画が上がっていますが、これからは議事録が出来次第、動画が削除されるように決定しました。しかし、町民から「もう少し削除せず動画を掲載してほしい」という声もいただいたので、議会でもう少し検討するべきだと考えています。皆様のご意見もぜひ聞かせて下さい。

11月30日には道の駅地域交流センターで、10時から議会主催の意見交換会が行われます。

ご参加お待ちしております。

議会広報特別委員会

委員 今泉 理